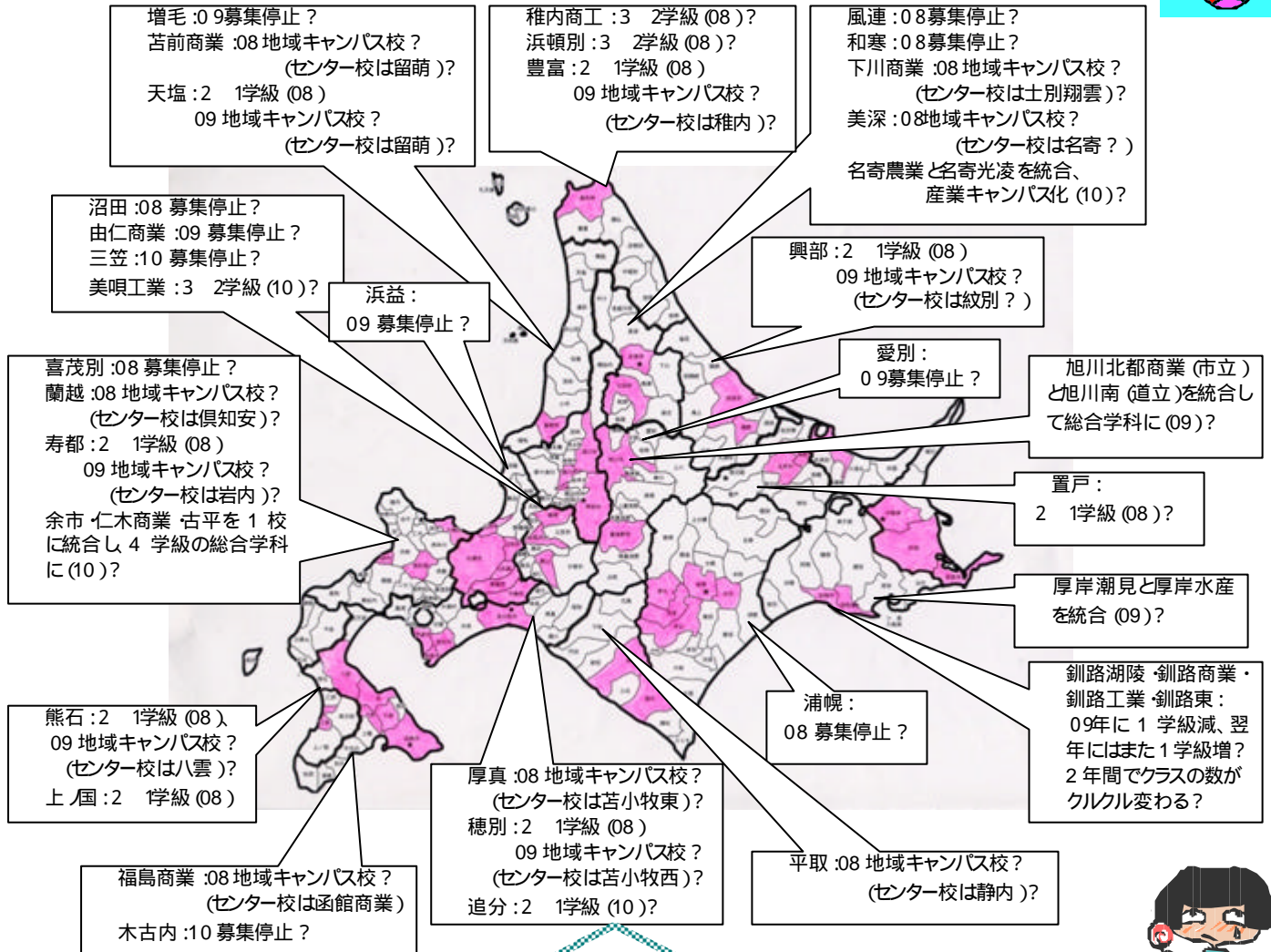


こんな「配置計画案」で

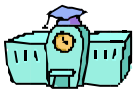
生徒、保護者、教職員、地域の皆さん。今、あなたの声が必要です。

# 北海道の高校教育はだいじょうぶなの？

## 道教委「公立高等学校配置計画案（08～10年度）」の概要



\* 上記を含め、3年の間に全道で延べ62学級減、24学級増を計画していますが、次年度以降、新たな学級減 統廃合案が追加される可能性があります。  
 \* 道教委のいう望ましい規模 (1学年4～8学級)の高校がある地域は、地図の中で色の濃い部分だけ。それ以外はいずれなくなってしまう?!



高校に行けなくなったら  
 どうしよう...

「キャンパス校」で 教育水準の維持、向上?  
 「地域キャンパス校」とは (分校ではなく) 本校で、入試や教育課程編成、学校行事などはこれまでどおり独自に行う。同一通学区域内のセンター校の支援を受ける。

- 支援の内容: センター校からの距離が
- \* 50km未満... 出張授業 遠隔授業など (教員配置 センター校 + 1, キャンパス校 1)
  - \* 50km以上... 通信機器を活用した教育活動への支援 (教員配置は現状維持) 今までと同じ?

遠隔授業より 教員 1人を配置した方が (つまりは今までと同じ方が) 良いのでは?

学級数がネコの目のように変わる?

釧路市のほか、札幌市内でも稲西 (08)、篠路・拓北・西陵 (09) を1学級減としながら、2010年度には再び1学級増とす計画です。

これまででも、学級減で教職員数が減るたびに、各学校では教育課程の編成はしめ学校の教育水準を維持するために、大変な苦勞を強いられてきました。

学級数や教職員数が毎年のように変わるのは、学校は大混乱!

中卒者数が減っても、あとで増えることがわかっていけるのなら、生徒の数が少ない年度は学級数を減らすのではなく「35人学級」で募集すれば良いのです!



私たちはこう考えます

### 1. 「教育の機会均等」の保障を

家庭の経済状況によらず誰もが高校に行けるように、また、郡部・都市部を問わず、充実した学校生活を送ることができる通学条件となるように、高校を配置するべきです。

### 2. 少人数学級でゆきとどいた教育を

「学年4～8学級」が教育上「望ましい」とい  
う根拠はありません。小規模な高校だからこそ  
できることもたくさんあります。その良さをみんな  
で認め合い、生かすことこそが、広い北海道には  
必要です。

一方で、障害児学校は「すし詰め」状態！

障害児学級で学ぶ子どもの数は増加の一途をたどり  
道教委は「08 公立特別支援学校配置計画案」で、「学級  
増」に対応するとしています。しかし、各学校はすでに「過大・  
過密」状態、特別教室や倉庫までも普通教室に転用してい  
るのが実態です。

札幌近郊の高等養護学校では、120名の寄宿舎に現在  
128名の生徒が生活しており、娯楽室・静養室が1つずつあ  
るのみで、思春期の子どもたちにプライベートな空間がほとん  
どありません。洗面所・トイレ・浴室もいつも満杯。

これ以上子どもを「詰めこむ」のは、教育条件を悪化させる  
だけです。「学級増」よりも「学校新設」が必要です！

あなたの声を、道・道教委、  
報道関係者に届けます！  
道高教組あてに、  
FAX（またはメール）を送って  
ください（あてさきは下記を参照）



定時制高校をなくしていいの？

夜間定時制は今、1クラス10～20人程度の  
少人数学級が実現しており、子どもたちが安心して  
成長できる大切な場となっています。

【道教委の案では】

小樽工業 :08機械・電気科募集停止(2 1学級)  
室蘭工業 :08募集停止

私の願い・ひとこと

住所 \_\_\_\_\_

氏名 職業等 \_\_\_\_\_

北海道高等学校教職員組合連合会 札幌市中央区大通西 12 丁目

TEL 011-231-0816 FAX 011-241-8510 E-mail : [kokyoso@dokokyoso.jp](mailto:kokyoso@dokokyoso.jp)